

家電リサイクル法施行に関する製造業者の取組みについて
(補 足)

平成 1 4 年 1 1 月 7 日
財団法人家電製品協会

家電リサイクル券センターの業務と運営費用

【設置目的】

家電リサイクル法の下で同法に係る関係者の業務の管理と運用を円滑かつ効率的に行なうために家電リサイクル券システムを構築し、同システムを運用するために家電リサイクル券センター（以下「RKC」という。）を（財）家電製品協会内に設置している。

【家電リサイクル券システム】

家電リサイクル券システムとは、家電リサイクル券を用いて特定家庭用機器廃棄物の再商品化等に係る再商品化等料金（以下「リサイクル料金」という）の回収・支払と特定家庭用機器廃棄物の管理票の管理を容易に運用するシステムである。

家電リサイクル券には料金販売店回収方式と料金郵便局振込方式がある。前者を選択する小売業者等は家電リサイクル券システムに入会し、同方式のシステムを利用する。平成 14 年 10 月末で販売店等約 62,000 社が入会済み。後者は排出者がリサイクル料金を郵便局から直接振込む方式で、小売業者等の入会は不要である。

【RKC の主な業務】

排出者が負担したリサイクル料金を製造業者等ごとに円滑に支払う業務、そのために以下のことを行っている。

- 1．家電リサイクル券の印刷・発送
- 2．指定引取場所で引取られた廃家電に係るデータの収集・集計
- 3．リサイクル料金の回収と製造業者等への支払
- 4．排出者によるインターネットでの引取確認への対応
- 5．各種問い合わせへの対応

【平成 13 年度 RKC 運営費用】

1,553 百万円（リサイクル料金の 5～6% = 約 180 円 / 台）
財団法人 家電製品協会 ホームページに公開（<http://www.aeha.or.jp>）

以上

家電リサイクル券システムとは

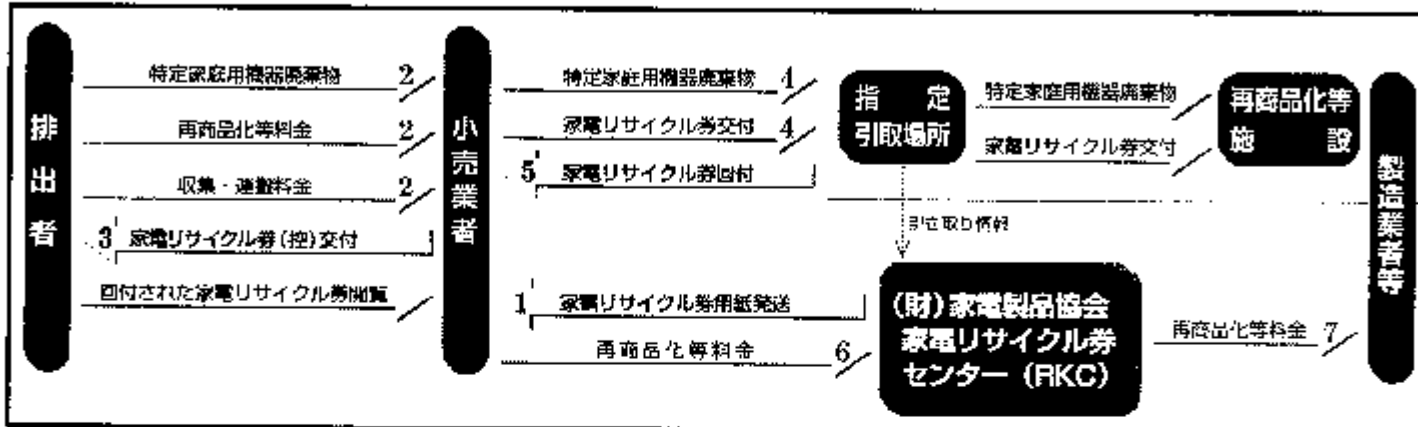
財団法人家電製品協会は、特定家庭用機器廃棄物管理票（マニフェスト）の機能を備え、再商品化等料金の払込・回収に便利な家電リサイクル券を創設して、協会内部に家電リサイクル券センター（RKC）を設置し、家電リサイクル券システム

を運用しています。このシステムには「料金販売店回収方式」と「料金郵便局振込方式」があります。

詳しくは、家電リサイクル券センター（Tel.0120-31964 http://www.rkc.acha.or.jp/）までお問い合わせ下さい。

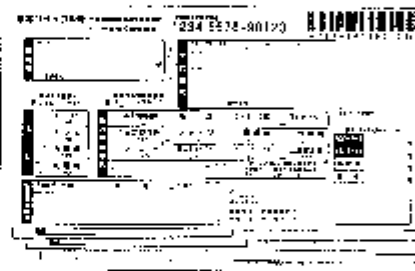
1. 料金販売店回収方式

この方式は排出者が再商品化等料金と収集・運搬料金を支払い、特定家庭用機器廃棄物を小売業者に引渡すときに小売業者が作成・交付する方式です。



■家電リサイクル券「料金販売店回収方式」…緑色
(データ伝送活用は橙色)

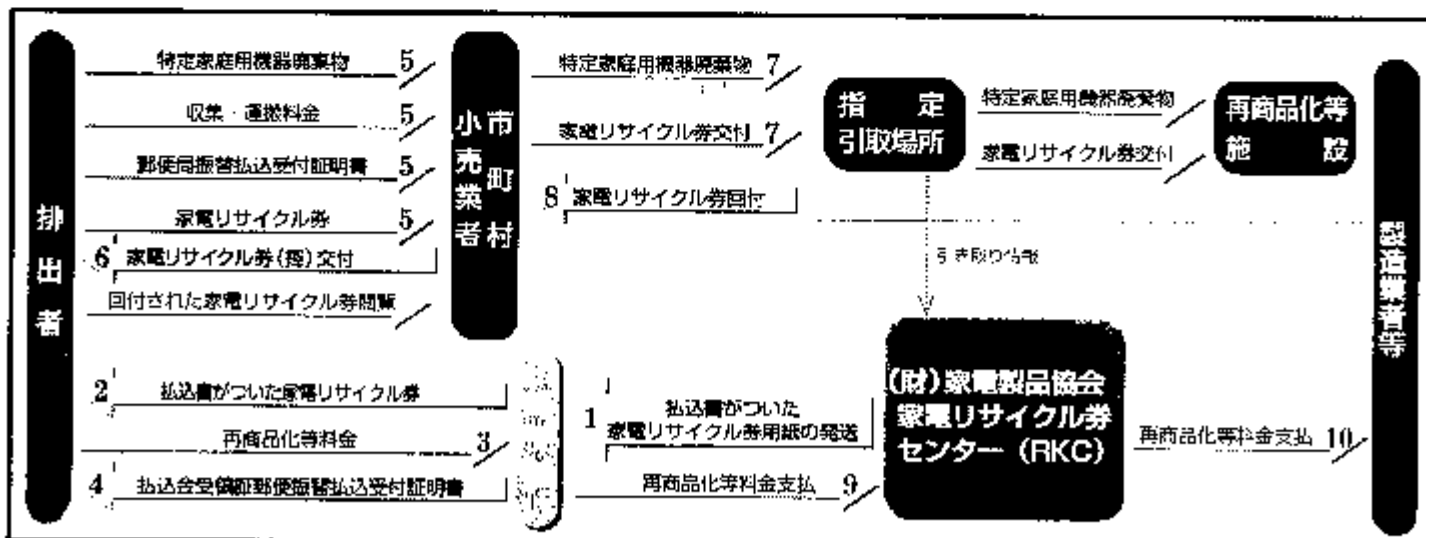
5枚綴りの家電リサイクル券使用。



①RKCで券紙発注
②小売業者引付
③指定引取場所
④排出者持
⑤回収引付用

2. 料金郵便局振込方式

この方式は排出者が特定家庭用機器廃棄物を市町村や小売業者に引渡す時に、あらかじめ郵便局で再商品化等料金の振込手続きをしたことを証明する「郵便振替払込受付証明書」と家電リサイクル券の提出及び収集・運搬料金の支払いをする方式です。



■家電リサイクル券「料金郵便局振込方式」…青色

払込書がついた6枚綴りの家電リサイクル券を使用。



①RKCで券紙
②小売業者引付
③指定引取場所

平成13年度(平成13年4月1日～平成14年3月31日)再商品化等実施状況抜粋

製造業者等及び
指定法人の総合計

特定家庭用機器廃棄物実施状況の総括(総合計)

	エアコン	テレビ	冷蔵庫	洗濯機
指定引取場所での引取台数	[千台] 1,334	3,083	2,191	1,930
再商品化処理台数	[千台] 1,301	2,981	2,143	1,882
再商品化等処理重量	[トン] 57,634	79,978	127,596	54,041
再商品化重量	[トン] 45,019	58,814	76,359	30,783
再商品化率	[%] 78%	73%	59%	56%

* 再商品化処理台数及び再商品化等処理重量は平成13年度に再商品化等に
必要な行為を実施した特定家庭用機器廃棄物の総台数及び総重量

* 値は全て小数点以下を切り捨て

* 上記の指定引取場所での引取台数及び再商品化処理台数には、管理票の誤
記入等により処理すべき製造業者等が確定していないものは含まれない

冷媒として使用されていたものを回収した総重量

	エアコン	冷蔵庫
冷媒として使用されていたものを 回収した総重量	[kg] 467,316	135,779

* 値は全て小数点以下を切り捨て

三洋電機株式会社
三洋電機空調株式会社

エアコン	テレビ	冷蔵庫	洗濯機
121	229	244	249
118	220	237	242
5,120	5,666	13,792	6,662
4,090	4,493	8,460	3,825
79%	79%	61%	57%

エアコン	冷蔵庫
35,671	16,909

シャープ株式会社

エアコン	テレビ	冷蔵庫	洗濯機
130	331	299	242
126	320	223	234
5,428	8,180	13,112	6,526
4,359	6,480	8,030	3,754
80%	79%	61%	57%

エアコン	冷蔵庫
38,620	15,883

ソニー株式会社

エアコン	テレビ	冷蔵庫	洗濯機
	348		
	336		
	8,851		
	6,989		
	78%		

エアコン	冷蔵庫

日立ホーム&
ライフソリューション株式会社

エアコン	テレビ	冷蔵庫	洗濯機
175	340	370	387
172	330	360	376
7,516	8,618	21,326	10,486
5,992	6,795	13,060	6,017
79%	78%	61%	57%

エアコン	冷蔵庫
56,013	25,541

指定法人合計

特定家庭用機器廃棄物実施状況の総括(総合計)

	エアコン	テレビ	冷蔵庫	洗濯機
指定引取場所での引取台数	[千台] 34	205	138	80
再商品化処理台数	[千台] 33	196	133	77
再商品化等処理重量	[トン] 1,446	4,983	7,624	2,138
再商品化重量	[トン] 1,158	3,928	4,686	1,213
再商品化率	[%] 80%	78%	61%	56%

* 再商品化処理台数及び再商品化等処理重量は平成13年度に再商品化等に
必要な行為を実施した特定家庭用機器廃棄物の総台数及び総重量

* 値は全て小数点以下を切り捨て

* 上記の指定引取場所での引取台数及び再商品化処理台数には、管理票の誤
記入等により処理すべき製造業者等が確定していないものは含まれない

冷媒として使用されていたものを回収した総重量

	エアコン	冷蔵庫
冷媒として使用されていたものを 回収した総重量	[kg] 10,824	9,367

* 値は全て小数点以下を切り捨て

株式会社 東芝

エアコン	テレビ	冷蔵庫	洗濯機
-	399	355	415
-	388	350	408
-	10,959	21,345	12,259
-	7,260	12,351	6,920
-	66%	57%	56%

エアコン	冷蔵庫
-	18,416

東芝キャリア株式会社

エアコン	テレビ	冷蔵庫	洗濯機
176	-	-	-
172	-	-	-
7,886	-	-	-
5,939	-	-	-
75%	-	-	-

エアコン	冷蔵庫
70,381	-

松下電器産業株式会社

エアコン	テレビ	冷蔵庫	洗濯機
223	655	528	393
218	635	520	386
9,966	17,892	31,746	11,577
7,527	11,962	18,366	6,534
75%	66%	57%	56%

エアコン	冷蔵庫
90,084	24,066

三菱電機㈱

エアコン	テレビ	冷蔵庫	洗濯機
171	238	235	140
168	230	229	137
7,310	6,077	13,452	3,812
5,841	4,804	8,241	2,191
79%	79%	61%	57%

エアコン	冷蔵庫
54,924	-

冷媒フロンの回収破壊取組み状況

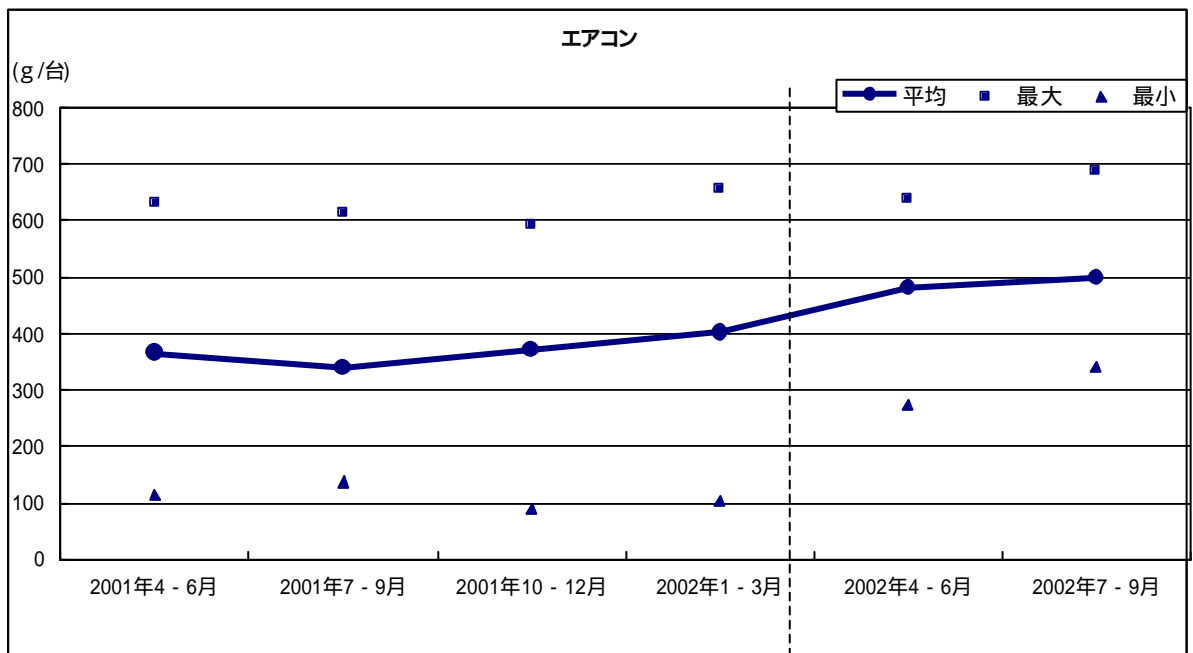
1. 平成 13年度 1年間にリサイクルプラントで回収された冷媒フロンは、エアコン 467トﾝ、冷蔵庫 136トﾝ、合計 603トﾝであった。
2. エアコン及び冷蔵庫の冷媒フロン回収量は、概算ではあるが平成 14年度上半期（4月～9月累計）でエアコンで約470トﾝ、冷蔵庫で約130トﾝと大幅に増加している。伸長率は下記のとおりである。

<表1 ;冷媒フロン回収量：伸長率>

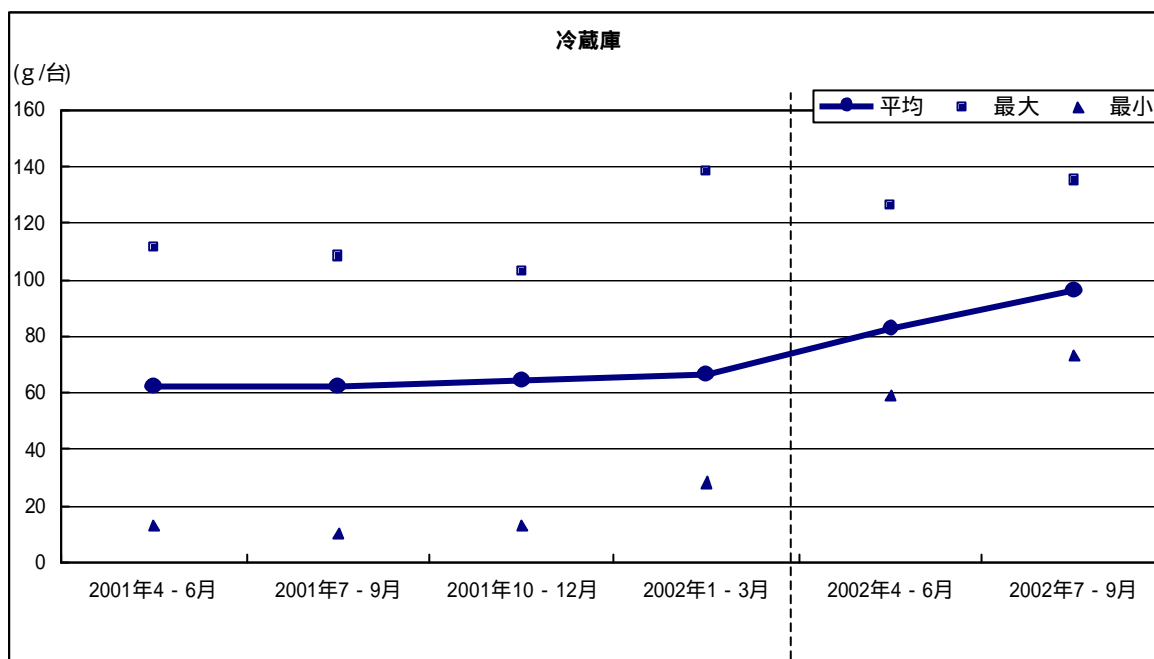
	項目	伸長率（4月～9月累計前年同期比）
エアコン	総回収重量	180%
	総処理台数	130%
冷蔵庫	総回収重量	180%
	総処理台数	130%

3. これを3ヶ月毎の冷媒フロン平均回収量及び回収施設のMAX.とMIN. についての推移は図1、図2の通りであり前述の回収量の増加とともに、回収施設毎の差についても順次改善されている。

<図1 ;エアコン冷媒フロン回収状況>



<図2 冷蔵庫冷媒フロン回収状況>



4. 回収量向上を図るため、下記の取組みを実施してきたが、引き続き改善に努める所存である。

<エアコン>

回収方法の改善と徹底

- ・エアコン反転によるフロンガスとオイルの分離促進

- ・回収終了間際、コンプレッサーに振動を与え、フロンを追い出す

治具の開発と配布

- ・バルブ回収対応治具を開発した

<冷蔵庫>

新ピアシング治具の開発と配布

- ・針の強度アップと小型軽量化による作業性向上

回収方法の改善と徹底

- ・低圧側 1点回収から高圧 低圧側からの 2点回収

- ・回収終了間際、コンプレッサーに振動を与え、フロンを追い出す

< 共通改善内容 >

回収作業教育による回収技術向上と意識高揚

- ・冷媒回収技術研修会の実施 修了証交付、全担当作業員に拡大の予定

- ・回収量の優秀な工場への見学会の実施

回収機、ポンベの周囲温度を下げる (扇風機等の設置)